

全国保育実践交流連絡会ニュース

島根地区 11月発行

2020年度 島根保育実践交流会の動き

月 日	活 動/☆コロナ関連	備 考
4月6日(月) 午前	第1回園長会(14か園)	2020年度の事業計画について協議
同 上 午後	5歳児総括	前年度総括(人数制限・時間短縮)
6月4日(月) 午前	第2回園長会(14か園)	情報交換、年齢別部会の確認
6/19~7/1	書面による年齢別、その他部会(給食、看護師)	期限を決めコロナ禍の保育実践、悩み等を書面で交流し合い、各部会の担当がまとめ、後期の部会までの課題を確認し合う。
7月9日(木) 午前	第1回松江部合同リズム	松江部4園
☆8月9日(日)~	☆松江でクラスター	高校で100人以上の感染者発生
9月9日(月) 午前	第3回園長会(14か園)	情報交換、各部会の報告他
同 上 午後	5歳児絵の学習会 (子どもの絵から感じとれること/『子鹿の太郎ちゃん』について等)	討議していくにつれ、大人の文化性・感性にまで波及し、引き続き話し合っていきたい。
9月29日(火) 午前	第2回松江部合同リズム	松江部5園

《コロナ禍での取り組み①》 ~園内での取り組み~

デイキャンプ 8/28

神門保育園(出雲部)

神門保育園は8月28日にデイキャンプをしました。例年ならキャンプ場で、1泊をするキャンプですが、近隣でコロナウイルス感染者の発生があったこともあり、今年はデイキャンプにしました。

午前は毎年キャンプで行く「わかあゆの里」にある神戸川上流で、川遊びをしました。川の流りに身を任せて泳ぐのは、川ならではの楽しさで、子どもたちは何度も川上から川下へ泳いで行きました。

泊まることはできませんでしたが、保育園では部屋にテントを張り、グループ毎に入ってはキャンプ気分を味わいました。夕食を食べてからは、夜の保育室を使って宝探しをしました。暗い中をドキドキしながら、歩いて探す子どもたちでした。

またその日は子どもたちが作った行燈を灯し、七夕まつりに披露できなかった太鼓を、保護者の人に見てもらいました。



例年より太鼓を叩く機会も多く、子どもたちも太鼓が大好きになりました。

そして保護者さんの提案で、一緒に園庭で花火をし、親子で夏の夜のひと時を楽しみ帰宅しました。



《コロナ禍での取り組み②》 大山青年の家での交流合宿 7/21~22

コロナ禍の中で、今年は合宿に行けるかどうか…という思っていました。保護者の方の理解と協力のおかげで、毎年恒例の交流合宿が出来ました。

虹の子保育園(16名)とこぼと保育園(25名)は、鳥取県の大山青年の家で交流合宿を行いました。この合宿は、1日目は阿弥陀川での沢登りと夕飯の野外炊飯(冷やしうどん作り)。2日目は赤松の池でのカヌーと盛り沢山の内容です。

41名の子ども達が9グループに分かれ、グループごとに粉をこね、まきを割ってかまどでうどんをゆでて作りました。みんなで力を合わせて作ったうどんは、コシがあり最高でした。

沢登りは、引率して下さった保護者の方が多く、また日々遊びの中で鍛えている身体をかわれ、小学校低学年向けのコースをすることになりました。

木々に囲まれた沢にワクワクしたのも束の間。水の冷たさと勢いのある水の流りに子ども達の表情は一変。しかし、前に突き進むし



かなか、時折水に足を取られながらも水の中を一步一步前へと進みました。200メートル程のコースでしたが、水深がある所や岩をよじ登る所もあったので、1時間半くらいかかりました。ゴール近くになってパラパラと雨が降り出しましたが、全員が最後まで登り切ることが出来ました。職員一同、「ほんと子ども達、よくやったよね。」という程、今年は達成感溢れる沢登りでした。帰りは、沢登りをした沢の横の道を下りましたが、あっという間にスタート地点へ到着しました。改めて水の中を歩くことの大変さを感じると共に、子ども達のたくましさを感じました。



島根では、園長会でコロナ禍での地域の状況や、様々な園の行事について情報交換を行ってきました。松江部は、保護者の同意の下、感染対策を行い合同リズムや夏のキャンプ、10月下旬には4園合同2泊3日の三瓶登山合宿等、少しずつ交流を始めていますが、出雲部は、未だ合同リズムを行うことが難しい状況で、県内でも市町村の考え方によって規制が異なる現状があります。

10月下旬から11月にかけて、各年齢別部会、給食部会、看護師部会を行う予定です。春はお互いに事前記録用紙のみで交流し、それをまとめて秋の部会に向けてどのような取り組みをするのかを確認し合いました。秋の部会では、絵を持ち寄りそれぞれの取り組みを伝え合い、討議していきたいと考えています。

日本での新型コロナウイルス感染者数は、10万人を超えました。未だ止まることのない感染拡大の中、菅新政府はGo to トラベルの期間延長を検討し、海外への短期出張の規制緩和を始めようとしています。コロナの問題と併せて、今後の情勢について、私たちは注視していくことが肝要です。

先日、さくらんぼ保育園の学習会にリモートで参加させていただきました。「哲学」と聞くと、正直何となく小難しい印象がありましたが、講師の西先生の「哲学とは「よさ」を考えること」という言葉に、フッと肩の力が抜けてお話を引き込まれていきました。私たちに必要なことは、お互いを認め合うためにまずは尋ね合うこと、認め合い理解し合う中で安心感が生まれ、その安心感が実は自由の欲求を生み出すのだと…。職場の中で、みんなで話題にしてみたいと思います。貴重な経験をありがとうございました。